

新年のご挨拶



社会福祉法人 清徳会
理事長 向井鉄也

新年あけましておめでとうございます。令和2年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は「清徳会」の運営に対しまして、ご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。令和2年の年頭にあたり皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

今日、社会福祉法人の意義は、社会福祉事業に係る福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たし、他の事業主体では対応できない様々な福祉ニーズを充足することにより、地域社会に貢献することにあります。前回の社会福祉法改正では、社会福祉法人の公共性・非営利を確保する観点から、組織運営のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上等の制度の見直しが行われ、地域社会に貢献する法人の在り方がさらに求められることとなりました。我が国の人口動態を見ますと、いわゆる団塊の世代が全員75歳以上となる2025年に向けて高齢者人口が急速に増加した後、その増加が緩やかになる一方、現役世代（担い手）となる生産年齢人口の減少が2025年以降加速し、中長期的に人手不足などの問題が更に深刻化する恐れがあります。人口減少や急速な高齢化、地域社会の脆弱化等の社会構造の変化の中、福祉ニーズがますます複雑化・多様化してきます。こうした厳しい介護福祉を取り巻く環境の中清徳会は高山市における老人福祉の一翼を担う法人として、今こそ法人創設の先人たちの「志」その「志」を忘れることなく、全職員が一層の信頼と安心の事業運営に努め、清徳会として何が出来るかを模索しつつ、新たなステージへと邁進する所存であります。

末筆ではございますが、本年がご利用者、ご家族、関係機関、地域の皆様、私ども社会福祉法人清徳会を支えて下さるすべての皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心よりご祈念申し上げますとともに、引き続き、清徳会の事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



謹んで新年のお祝を申し上げます。本年も地域と共に地域に親しまれる宙を目指し職員一同努めてまいりたいと思います。本年も引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



施設長 松葉直子

令和初の新年を迎え、心からお慶び申し上げます。当センターは「どんな時でも相談できる人がいる。そんなチームを目指します」という思いの具現化に向け、微力ながら地域の相談窓口として、まちづくり推進の一翼を担えるよう努めてまいりたいと思います。本年も引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ケアプランセンター清徳会 センター長 中島留美子

 本年もよろしく
お願い致します

